

(1)



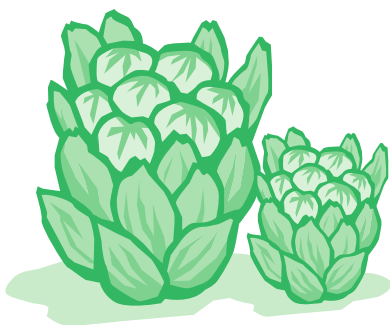
# さくら 農業委員会だより



平成16年1月発行  
第72号  
発行 佐倉市農業委員会  
〒285-8501  
佐倉市海隣寺町97  
佐倉市ホームページ  
(<http://www.city.sakura.chiba.jp>)  
のメニューの「Web市役所」の  
「委員会事務局」をクリックする  
とご覧いただけます。  
☎ 043-484-6285(直通)



平成15年度 農業委員先進地視察研修（宇都宮のろまんちっく村）



## 主な内容

- ☆ 新年のごあいさつ…………… 2 頁
- ☆ 農業委員会の仕事とは？…………… 3 頁
- ☆ 県外視察研修委員報告…………… 4 頁
- 他

(本紙は、古紙配合率100%再生紙を使用しています。)

# 新年のごあいさつ

佐倉市農業委員会

会長 清水志津夫



新年あけましておめでとございます。  
謹んで新春のお喜びと皆様方のご健勝  
をご祈念申し上げます。

農家の皆様には平素より農業委員活動  
の推進につきまして深いご理解とご支援  
を賜り心からお礼申し上げます。

昨年は、日照不足により農作物の被害  
は大変深刻なものとなり、また、農業を  
とりまく状況はWTO問題など様々な課  
題が山積みされ大変厳しい時代を迎えて  
おります。

特に農業者にとっては長引く不況の中  
で、引き続き生産調整という大きな問題  
を抱えており一日も早く安定した農業経  
営が出来るよう願うところでございま  
す。

さて、本県では「千産千消」を打ち出  
し食の安全と消費者のニーズに合う作物  
が提供出来るシステムを推進しており、  
本市においても各地域で地域間交流とし  
て、農業体験実習を行い、その実習の成  
果は誠に大なるものがありました。

近年、都市化の進行に伴い後継者問題  
等を抱え、その結果として不耕作地が  
年々増える傾向にあり、誠に残念でなり  
ません。この様な問題を解決して行くた  
めに、後継者及び担い手の育成に全力を  
尽くす所存であります。我々委員一同は  
農家の皆様方のご期待に添うように、ご  
意見ご要望を委員活動に取り入れ、農業  
政策の一端を担うべくその責務や機能を  
十分に発揮し、社会経済情勢の変化に対  
応できる佐倉市農業を目指し頑張る覚悟  
でございます。

今後とも皆様方のご支援ご協力を賜り  
ます様お願い申し上げます、新年のご挨拶と  
いたします。



## 謹賀新年



農業委員一同 (議席順)

- 大川悦司 (下勝田)
- 長澤信夫 (六崎)
- 三門増雄 (青菅)
- 鹿谷 守 (江原新田)
- 遠藤英雄 (馬渡)
- 中村正美 (直弥)
- 中村照治 (坂戸)
- 篠原久幸 (内田)
- 栗原 隆 (吉見)
- 木原義春 (角来)
- 岩淵重雄 (大篠塚)
- 土屋幸文 (飯塚)
- 清宮利行 (岩名)
- 檀谷正彦 (岩富)
- 宮部恵子 (西志津)
- 根本一男 (羽鳥)
- 田中資造 (木野子)
- 荒川重雄 (大佐倉)
- 岩井正一 (飯田)
- 細谷壽雄 (吉見)
- 志田善政 (白井田)
- 清水志津夫 (下志津)

# 農業委員会の仕事とは？

## 農業委員会の

## 性格と役割

「農業委員会だより」発刊にあたり、農業委員会とはどのような機関であり、その役割を要約して説明いたします。

### 一、市町村に置かれる行政機関

地方自治法によって市町村に設置が義務づけられている行政機関で、公職選挙法を準用した選挙



によって農業者の中から選ばれた委員を中心とした構成される合議体の行政委員会です。

### 二、農業・農業者の公的代表機関

「選挙」によって自らの代表を選ぶ農業委員会は、公的に認められた唯一の農業・農業者を代表する機関です。つまり、農地の権利調整や農業経営の合理化など農業振興についての対策を進めたり、農業・農業者に関するいろいろな問題について意見の公表や市町村長などに建議し、あるいはその諮問に応じて答申するという農業に関する広範な役割をもっています。

## 農業委員会

## の仕事

数多い仕事の中で、日常よく係わる仕事を紹介します。

### (1) 農地法にもとづく仕事

- ① 農地の権利を移動する時の許認可の仕事
  - ② 農地を農地以外に転用する時の許認可の仕事
  - ③ 小作地の所有制限等の仕事  
(不在地主は小作地を所有してはならないなど。)
  - ④ 農地等の賃貸借解約等に関する仕事  
(受理・申請書進達等)
  - ⑤ 農地の利用関係をめぐる紛争が生じた場合の和解仲介の仕事
  - ⑥ 標準小作料に関する仕事  
(適切な小作料の目安を与え、高額小作料に対しては勧告する等)
- (2) 農業経営基盤強化促進法にもとづく仕事  
(認定農業者・担い手育成など、経営拡大、経営改善、基盤の強い農業の構築)
- ① 「基本構想」作成に際しての意見を  
する仕事
  - ② 農用地利用集積計画の決定に関する  
仕事
  - ③ 遊休農地の有効利用への指導
  - ④ 嘱託登記に関する仕事
- これらの他、農振地域変更の祭に意見を  
する仕事等があります。

# 県外研修視察委員の報告

土屋 幸文

遠藤 英雄

県外研修先は、笠間クラインガルテンと宇都宮ろまんちつく村と二ヶ所でした。クラインガルテンと名前を聞いたときどのような施設かなと思いましたが宿泊施設付の市民農園でした。

都会の人には三組以上の家族で年間四〇万円で借りられるすばらしい施設が五〇区画あり常に募集をオーバーする状況と聞き感激しました。また食堂では地元産の地粉で打ったソバが大変好評でした。

ろまんちつく村は、温泉宿泊付体験レジャー農園第三セクタ―によるこれもすばらしい施設でした。付設の直売所は観光型で私たちも弥富直売所を運営しています。団地型です。弥富にも集客力のある施設があればとつくづく思いました。



栃木県宇都宮市農林公園は平成八年度オープンのレジャータイプ施設です。四六畝の広大な施設です。立派な温室で特にサラダ菜の特殊栽培等が行われています。

青空市場の併設、又対照的な茨城県笠間市の丘陵地を利用した原型はドイツの短期滞在型農園（ガーデンハウス付き年四〇万円）と市民農園（年一万円）の併設市営農園で、二タイプのも都市型近郊農園です。そしていづれも青空農産品市場が他の施設に比較して少し見おとりする売場でした。

生産者の顔の見えるそしてブランド化された規格ラベルの鮮度管理の正しく行なわれた売場が今日の販売の原点ではないかと感じました。

中村 照治

宇都宮市農林公園「ろまんちつく村」を視察した。この公園内には、ビール醸造、花（蘭）そして温泉と充実した施設であり、豊かな自然の中で楽しめる。ハイテクの野菜、どれもこれも近代化された施設であり、消費者へ安心して供給されるすばらしい施設であった。

二日目は、笠間クラインガルテン（宿泊施設付き市民農園）地域農業活性化施設としての中核施設で、都市住民と地域住民との交流を図る為にできたこと。施設に滞在して、週末や休暇を利用して農作業を楽しみ、定年退職後第二の人生として、それぞれの利用法で菜園活動している。施設の規模も大きく、一区画300㎡、五〇区画があり（宿泊施設37・32㎡）年間使用料四〇万円と、自然な場所できるとりある人生の過ごし方のできる施設であり、こうして地方によって、いろいろな経営の仕方を考え生み出し、これからは農地の活性化対策はよりいっそう真剣に取り組んで、文化的な観光資源を作り出すことが重要な課題ではないかと感じました。

## 全国農業新聞

一発行所一  
全国農業会議所

全国農業新聞を読んでみませんか。  
くらしと経営に役立つ情報が  
いっぱいです。



お申し込みは、農業委員会事務局又は  
農業委員さんへどうぞ

◇発行日 毎週金曜日 ◇購読料 1ヶ月 600円 (送料共)

農業委員会だよりは、農家のみなさんのための情報誌です。ご意見、ご感想、又情報などありましたら事務局までお寄せ下さい。